

試 験 地	受 検 種 別	受 験 番 号							氏 名

受験地変更者は上欄のほか、本日の受験地と仮受験番号を記入してください。

本日の受験地..... 仮受験番号 仮一.....

平成 28 年度
2 級建築施工管理技術検定試験
実地試験問題

次の注意事項をよく読んでから始めてください。

〔注 意 事 項〕

1. ページ数は、表紙を入れて 7 ページです。
2. 試験時間は、14 時 15 分から 16 時 15 分です。
3. 試験問題は、5 問題です。全問題解答してください。
4. 解答は、別の解答用紙の定められた範囲内に、黒鉛筆か黒シャープペンシルで記入してください。
5. この問題用紙は、計算等に使用しても差し支えありません。
6. この問題用紙は、実地試験の試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は、回収します。

問題2 次の建築工事に関する用語のうちから**5つ**選び、その**用語の説明**と**施工上留意すべき内容**を具体的に記述しなさい。

ただし、仮設以外の用語については、作業上の安全に関する記述は不可とする。また、使用資機材に不良品はないものとする。

足場の手すり先行工法

金属製建具のかぶせ工法

軽量鉄骨壁下地の振れ止め

コンクリート壁の誘発目地

タイルカーペット

鉄筋の先組み工法

溶接のアンダーカット

型枠はく離剤

クレセント

鋼矢板

先送りモルタル

超高压水によるコンクリート面下地処理

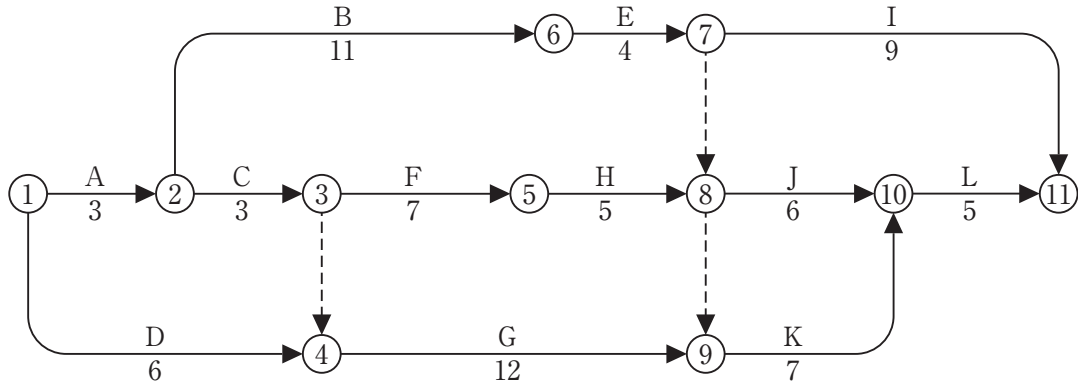
マスキングテープ

ローリングタワー

問題3

図に示すネットワーク工程表について、次の1. から3. の問いに答えなさい。

なお、○内の数字はイベント番号を、実線の矢線は作業を、破線の矢線はダミーを示し、また、矢線の上段のアルファベットは作業名を、下段の数値は所要日数を示すものとする。



1. 工程表において、①から⑪までの**総所要日数**を答えなさい。
2. 工程の再検討を行ったところ、作業Hの所要日数が1日、作業Jが2日増加することが分かった。このときの**クリティカルパス**を、**作業名**で工程順に並べて答えなさい。
3. 作業Hの所要日数が1日、作業Jが2日増加するときの①から⑪までの**総所要日数**を当初と同じ日数とするために、作業Bと作業Fの日程短縮により調整する場合、**作業B**と**作業F**はそれぞれ**最小限何日短縮**すればよいか答えなさい。

問題 4 次の文章中、下線部の語句又は数値が適当なものには○印を、不適当なものには適当な語句又は数値を記入しなさい。

1. 透水性の悪い山砂を埋戻し土に用いる場合の締固めは、建物躯体等のコンクリート強度が発現していることを確認のうえ、厚さ 60 cm 程度ごとにローラーやタンパーなどで締め固める。
入隅などの狭い個所の締固めには、振動コンパクターやタンパーなどを使用する。
2. 大梁の主筋をガス圧接する場合、鉄筋径程度の縮み代を見込んで加工しないと、定着寸法の不足や、直交部材の配筋の乱れを招くことになる。
3. コンクリートの1層の打込み厚さは、締固めに用いる棒形振動機の長さ以下とし、コールドジョイント等の欠陥を防止するため、棒形振動機の挿入の際には先に打ち込んだコンクリートの層に棒形振動機の先端が入るようにし、棒形振動機を引き抜く際にはコンクリートに穴を残さないよう加振しながら急いで引き抜かなければならない。
4. 型枠は、コンクリートの自重、コンクリート打込み時の振動や衝撃、コンクリートの側圧などの荷重に対して安全であり、型枠取外し後のコンクリートに必要な仕上がり寸法及び精度が得られ、容易に取外しができないものでなければならない。
5. 改質アスファルトシート防水トーチ工法による平場のシート張付けは、下地にプライマーを塗布し乾燥させた後、シート表面及び下地をトーチバーナーで十分あぶり、改質アスファルトを溶融させながら、平均に押し広げて下地に密着させる。
6. 軽量鉄骨壁下地において、コンクリート床、梁下及びスラブ下に固定するランナーは、両端部から 50 mm 内側をそれぞれ固定し、中間部は 1,800 mm 程度の間隔で固定する。また、ランナーの継手は突付けとし、ともに端部より 50 mm 内側を固定する。
7. ビニル床タイル等の高分子系床材料の張付けに使用されるウレタン樹脂系接着剤のほとんどが、湿気硬化形の一液性で、反応硬化形接着剤の中では作業性が良く、初期粘着性が良いため、土間コンクリート等の場所に多く用いられている。
8. 特別管理産業廃棄物以外で、建設工事に伴い生じた産業廃棄物の処理を委託した排出事業者は、委託処理した産業廃棄物を搬出する際に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付したときは、産業廃棄物管理票の交付から 90 日以内に C票が、180 日以内に E 票が返送されてこない場合、廃棄物の処理状況を確認するとともに、都道府県知事等に報告しなければならない。

問題 5

「建設業法」、「建築基準法」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に定める次の各法文において、それぞれ誤っている語句の番号を1つあげ、それに対する正しい語句を記入しなさい。

1. 建設業法（第24条の2）

元請負人は、その請け負った建設工事を施工するために必要な費用の細目、作業方法その他
① ②
元請負人において定めるべき事項を定めようとするときは、あらかじめ、下請負人の意見をきか
① ③
なければならない。

2. 建築基準法（第89条第1項）

第6条第1項の建築、大規模の修繕又は大規模の模様替の工事の施工者は、当該工事現場の見
易い場所に、国土交通省令で定める様式によって、建築主、設計者、工事施工者及び工事の
①
作業主任者の氏名又は名称並びに当該工事に係る同項の確認があった旨の表示をしなければなら
② ③
ない。

3. 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（第5条第1項）

建設業を営む者は、建築物等の設計及びこれに用いる建設資材の選択、建設工事の施工方法等
を工夫することにより、建設資材廃棄物の発生を抑制するとともに、分別解体等及び建設資材廃
① ②
棄物の再資源化に要する費用を負担するよう努めなければならない。
③

